

●当日アンケート

項目	ご意見
○共生社会推進および改正障害者差別解消法に関するご意見	
<p>移動手段について。公共交通の利用者減少により、バスの運行本数が減少し、ほかの方法に変更せざるを得なくなり、タクシー利用の場合は負担金額が増えるので、外出を控えてしまう。 福井県は広範囲で魅力があり、楽しみたいが、移動が簡単でなくなっていく中、利用できるものがさらに淘汰されそうに思う。県としての人口減少による街のあり方等があればセットで対応してほしい。</p>	
<p>障がい当事者(特に知的)などに対する理解が不足していると感じる。</p>	
<p>障がいのある方を街で普段見かけることがとても少ないと思っている。施設で働く立場として、社会参加を積極的に行い、共生社会を目指したい。</p>	
<p>不足しているところは、通勤、通学、通院の不便さ。</p>	
<p>大野市はタクシーの数が少なく同行しにくくなっている。歩いて行ける場所は足が悪くて困っている。</p>	
<p>伊藤選手の講演会が大変良かった。講演の中でもあった「ソフト面での共生」が難しい現状があると思う。障がいを持った方を自然に受け入れる社会が広がると良いと思う。</p>	
<p>発達障がいのお子さんを養育中の保護者が子育てしやすいように、見えにくい障がい部分への啓発。外出先の感覚刺激レベルの情報を集めたいと思っている。 会社で出前講座を受けてみたいと思った。</p>	
<p>まだまだ駅や街でも、災害の情報が掲示板に流れるようにしてほしい。</p>	
<p>身体障がい者の共生社会が進んでいるが、精神・知的障がい者の共生社会の仕組みづくり。障がい当事者が社会で声をあげても、出しゃばるなどされてしまうこともあるように感じる。出る杭は打たれるというようなことをなくしていくための発信が不足しているように思う。</p>	
<p>手話言語条例について、理解や啓発のため、テレビ番組でアピールすべきではないか。</p>	
<p>広く周知を図っているというが、実際には多くの人にほとんど伝わっていない感じがする。</p>	
<p>ハートフルパーキングの駐車場に健常者が駐車しているところを見る。そして車いすマークを貼っている車いすの方が、入口から遠くに駐車しているところを見た。</p>	
<p>社会全体にあまり浸透していない。いろいろところで知ってもらう活動が必要。県だけでなく障がい者団体との連携のもと活動することが必要。</p>	
<p>日常生活用具の給付および対応の見直しについて、限度額の見直しをしてほしい。 身体障害者手帳の障がい者への情報提供。</p>	
<p>出前講座について、大学での就職説明会等で企業が多数集まるため、活用してはどうか。障がい者と働くイメージがない企業に、大学としても啓蒙活動をしたいと考えている。</p>	
<p>(発達障がい者向け)企業へのパンフレットについて、福井工大が未来協働プラットフォームふくい事業成果として、パンフレットを作成した。県のパンフレットのたたき台にしてもらってもいいのではないかなと思う。</p>	
<p>福祉施設で不法行為をしている事業所をもっと厳しく取り締まってほしい。不正受給がまだまだ隠れていると感じる。 災害時の要支援者については各地区の福祉相談所との受け入れ体制を取り決めていただきたい。</p>	
<p>障がい者週間の周知について、まだ不足しているように感じる。イエローライトアップなど、全く気が付かなかった。</p>	
<p>精神科の初診について、医師、看護師、精神保健福祉士、心理士などでチームを組み、30分は時間を取って話し合いをしてほしい。また、初診から最低5日間連続で診察を行う。入院でなく、話し合い(通院)での治療を検討してほしい。</p>	

●当日アンケート

項目	ご意見
○共生社会推進および改正障害者差別解消法に関するご意見	
	<p>困りごとを聞く窓口が少ない。窓口を多くするには、窓口としてテクノロジー(AI、SNS)を利用し、困りごとの対策を提案できるようにする。また、民間の窓口を多くする。多くするには、相談を受けられる人のハードルを下げる。お金がないなら、企業から献金してもらったら、した側に対して税金の優遇をする等、民間にお金が回る取り組みを。ピア制度やメンター制度を利用して、相談支援者の人数を多くすることも考えられる。</p>
	<p>また、行政もいろいろと情報を発信してはいるが、現実としては届いていない。SNSマーケティング等を理解すると促進できるようになるのかなと思うが、難しいとも思う。</p>
	<p>災害について色々話し合いしたいです</p>
	<p>強度行動障害者、特に医療ケアの必要な方々への支援を強化する取り組みをしておられるとのお話がありました。我が息子は強いてんかんの全般性発作があり、発作時の対応が難しいため、介護事業所、ショートステイ、送迎、いろんな場面で制約があります。しかしながらてんかんが医療ケアの対象ではないため、狭間にいて支援が足りず、保護者の負担がとても大きいです。てんかんが対象にならないまでも、同等の対応をしていただければ幸いです。</p> <p>強度行動障害を伴う自閉症の息子のために家庭でも懸命に手立てを行っていますが、それでも問題行動を止め切ることができず、その中で仕事や親の介護もあり、日々疲労を感じています。今はなんとかやれても、これがこの先持続可能か、と言われると、とても難しいです。とくに私の住む嶺南地域には短期入所、入所施設、ともに不足しており、支援員さんに相談すると、滋賀県の施設を紹介されたりします。なんとか、親が安心して自分の健康も維持しながら、かつ子どものことを案じることが少なくなるよう、まだ親がいろんな決断ができるうちに、地域の明確な指針や計画を示してください。過去には入所施設に関して前向きなお話も耳にしましたが、最近は全く情報がありません。</p>
	<p>普通の人には行き渡って無いと思う</p>
	<p>いろんなこと(事業や施策、行事-イベント等々)の、計画の段階から、障害者を参画させて欲しい。</p>
	<p>エネルギー危機や食料危機等になった場合、今のような暮らしができるか、心配。</p>
	<p>公共施設における照度基準(JIS)を周知徹底して欲しい。会場の生活学習館の廊下も電気が消されていて暗かったで</p>
	<p>公共施設、社会インフラにおけるバリアフリー化の検証(技術資格を持つ障害者の意見を設計段階から取り入れる)をしてほしい。</p>
	<p>公共事業の入札参加条件で障害者雇用率を達成している企業をプラス評価する(バリアフリー化が必要となる工事では障害のある配置予定技術者をプラス評価する)。</p>
	<p>障害者eスポーツをこれまでスポーツ課が取り組んでいたが、社会では注目されているのに福井県内は尻すぼみなので障害者、高齢者のリハビリやコミュニケーションツールとして底上げして欲しい。日本eスポーツ連合(JeSU)も注目していて、福井支部である福井県eスポーツ連合の活動は先進的な取り組みとして注目されている。</p>
	<p>知的障がいの子が中年になり、医療にかかることが増えたが、話を聞いてくれる医療機関を探すのに苦労する。自分の体調変化を訴える力のない人がどうしたらよいか、医療においても共生社会を望む。</p>
	<p>障がい者も、グループや団体でなくても、個人個人でもっと普通に一般の人との交流ができるように行政からも働きかけてほしい。知的障がいの子を親である自分が連れて公民館などの教室に行っているが、公的行事で例えば「知的障がい者も参加可」とされていれば、事前にあえて説明して了承をもらわなくてもよい。</p>
	<p>障がい者のために障がい者だけのスポーツやカルチャーがあっても、本当の共生とはいえないのでは。</p>
	<p>福井県は充実しています。健常者は障がい者の特質を理解することと、どのように声掛けをすればよいか、手助けをすればよいか、分からない場合があると思います。将来的には期待できますが、将来、少子高齢化で障がい者団体の規模が小さくなります。すると行政に届く声も小さくなります。行政は動いてくれるか心配です。</p>

●当日アンケート

項目	ご意見
○障がい理由とする差別の解消や合理的配慮について	
・思いやりのある言動、行動など	
自分の父が障がいのある方の横に座ってゆったりと話をしている、ほのぼのとした。	
子どもでも手話を表してくれて嬉しかった。	
横断歩道を渡り終える際に段差があり、車いすの方が上がれず困っているのを車から見ていた。その際、近くにいた方が声をかけて後ろから押してあげている光景を目にした。	
私は手が不自由なため、何をするにも時間がかかる。時間がかかってもできることは自分でやりたい性格。対応してくれる係の人が、不平も言わず待っていてくれる。ただ、待っていてくれることが嬉しい。	
また、スーパー等で高いところにある商品物を取るのに困っていると、「これですか」と他のお客さんが取っていただき感謝したことがある。	
私は、京都駅で白杖をついて歩いていたら「同じ方向に行くので手助けしましょうか」と言われて嬉しかったです。同行援護は社会参加に助かります。	
・過去に体験した差別など	
車いすの人が来ると子どもに「危ない」と無意識で言っていたが、講演会を聞き、無意識で自分が差別してしまっていると感じた。	
大音量に弱い(パニックを起こす)人の暮らす地域での突然の防災無線の音が、配慮に欠けると感じた。	
JRで車いすの切符を予約する際、2～3階駅へ行かないといけなくて大変(予約時、切符購入時、出発)。障害者年金の手続きのためにも年金事務所へ3～4回訪問した。	
発達障がいのお子さんを養育中の保護者からよく聞かれることとして、買い物で待てない、衝動が抑えられず泣きわめく、など周囲の目がつらい。できるだけ連れて行かないようにしているけど、日常でやむを得ない時もあり…	
行政の行事を常識ある時間帯に行ってほしい	
手話が少しずつ広がってきているが、まだまだ。	
自身が自閉症であることを言うのと、それは言わない方がいいといわれることが度々ある。引きこもり時、地域社会からは完全に孤立していた。相談支援専門員になってからも、自身が自閉症だと周りに話すと、それは言わない方がいいと指導される。社会というものは自分から障がい者であることを主張すると不快に思われるものなのではないでしょうか？	
JR窓口で新幹線遅れ、対策をスムーズにやってほしい。券売機では手帳割引できず、みどりの窓口には並ばないといけないので、待ち時間など大変。掲示方法など改善してほしい。	
スーパーの駐車場で、車いす使用時にスペースがなく、元気な人が利用している様子を見る。駐車場の利用対象者は分からないが、障がいの軽い人でも利用できるのか。	
毎年、避難訓練が各市町で実施されており、原子力発電所で災害発生時の訓練も実施されているが、その参加者は健常者のみの訓練で残念。避難困難者についても参加できるよう対応をお願いします。	
民生委員の増員や向上について検討してほしい。	
子が聴覚障がい。2010年頃、小学校入学前に合理的配慮を求めたところ、校長からあからさまに「うちは特別支援学校じゃないんでね。できないことも多いですよ」と言われた。実際入学すると、担任の先生方や、同級生は分かっているような様子を見て自然に助けてくれていた。学校ではロジャーマイクを購入、使用していただいととても助かった。	
障がい者スポーツのコーチ・指導者の成り手が少ない。指導者免許と障がいに対しての理解、この2つがないとできない。身体・発達・知的・精神、様々な人がいる中で一気に指導をするのは至難の業で、指導者の成り手がなく、普及が難しい。	
私自身は盲導犬は使っていないが、盲導犬と一緒に食堂やホテルに行ったら断られた事例があります。県内ではどうでしょうか。	
障害者は健常者より劣っているという常識が地域に根付いていて、県職員や市町職員は特に強いと感じる。ほんの一部だと思いますが、朝夕の通勤電車やバス内で公務員が優先座席に座り必要な人が居ても知らぬふりして譲らないことが見受けられる(恐竜マークや親指マークのポロシャツ、名札首紐のロゴですぐ分かる。中にはジュナナバッジも…)。そんな社会なので、駅で白杖を持ってスマホを操作していると疑いの眼差しで視界を遮るように覗き込まれる(白杖者=全盲)。差別が怖くて白杖を持たない人が福井には多く街で見かけることはほぼない。	
昨今は法律や条例ができて社会が考えてくれる世の中になってきているのかもしれないが、周りからの攻撃されないように長い年月家族で引きこもっていて、それを享受できなかった。知的障がいを持つ子は小学校入学時もそうだが生まれた時から差別が付きまわっていたと思う。これから社会がどう変化していくのか、自分たち家族や子にとって必要な適切な社会を探し当てたいと思っている。こういった家族は自分たちだけではないと思う。	

●当日アンケート

項目	ご意見
○今後のタウンミーティングの開催方法(開催時間、テーマ)について	
	今後も講演会を含めて開催してほしい。
	開催周知を市町ごとにするとさらに参加者が増えると思う。
	駅から近い場所で開催してほしい。 テーマは身近な地域でのワークショップにしてほしい。
	聞こえないだけでなく、他の障がい者たちが災害の時にどんな方法で対応しているか知りたい。
	精神・知的障がい者に対する共生社会についても焦点を当ててほしい。
	映像も良いが、実際の講演会で話を聞く機会がほしい。
	今回の講演会はこれまでのタウンミーティングではなかったと思うが、今後もぜひ取り入れてほしい。
	日頃からホームページなどで意見を募る。
	質問時間が長くて良かった。意見交換会で「検討したい」と言われたことに関してはどうなったかを必ず公表してほしい。 次回タウンミーティングなのか、県ホームページか。
	平日にも開催してほしい。
	できるだけ多くの地域、回数をお願いしたい。
	県は障がい以外でもタウンミーティングを実施しているのか。
	平日の午前中など各事業所が勤務時間中に一般の職員達もタウンミーティングの内容を、当事者達の声を生で聞けるようにオンラインで流してほしいと思います、障がい福祉に関わっている職員ですらタウンミーティングって何？と思っている人が多いことが、共生社会を目指していても近づいていないと思います。
	開始時刻を早めて、その分、意見交換の時間を増やしてほしい。
	福井会場を、アオッサ等、JR福井駅近くで行ってほしい。
	生活学習館までの公共交通機関が乏しく当事者は会場参加しづらい。 ワークショップは活発な意見交換の場になり、もう少し時間が欲しかったですが、開催していただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです！ありがとうございます。
	当事者の状況によっては休日ではなく平日の方が良い場合もあるかと思うので、平日と休日を組み合わせでどちらか選んで参加という方法もありかなと思う。 テーマは、福井県だけでなく、全国的にどう共生社会が実現されているのか、現況と、今後の展望・展開・事例を紹介してもらえれば、個人的に探し動く必要もなくて良い。
	時間やテーマは今のとおりでよい。また小浜で開催してほしい。

●当日アンケート

項目	ご意見
○自由意見	
	障がい福祉関係者でない一般の方に参加してもらえよう、著名な方に講演いただくような工夫をお願いしたい。
	一緒に共生社会づくりを目指しましょう。
	手話通訳の方、スクリーン文字表示などがよかった。 資料P11、医ケアが必要でグループホームへの支援となるのはどういった理由なのか。
	障害者手帳が古くなるとインクが溶けるのを何とかしてほしい。 重度医療の現物給付を検討してほしい。
	計画の基本目標3 人材確保について、福祉業界だけでなく、人手不足で十分な支援に当たれないことがある。更なる推進をお願いしたい。
	心のバリアフリーとは、障がい当事者を心から受け入れることだと思う。 障がい者本人が悩んで相談を持ち抱えたところに、アドバイスではなく、「だからオマエはだめなんだ」否定から入る。本人は否定されたいのではない。制度や法は充実してきたが、寄り添う支えが大事と思う。
	災害時に情報が必要なので、各地(大きな市やろう者がいるところ)にアイドラゴンを設置してほしい。石川県での例も踏まえ、福井間でもいろいろ調べて設置してほしい。
	他の参加者の体験を通じた思いなどを聞くことができとても心が動かされました。皆、生きるのに必死であることを改めて感じる事ができ、とても勉強になりました。ありがとうございました。
	今年3月に障がい者になり、半年しかたっていない。まだまだ勉強不足で何も分かっていないが、これから先は少しずつ勉強していきたい。
	県内の障がい者団体が高齢化のため、解散・停止等になっていて、今後どうなるかが心配。共生社会等を進めるうえで障がい者団体と市町・県との連携が必要だと思う。 また、現在、障がい者団体の事務局を社協か市町で対応していただける市町がないところがあります。できれば、社協または市町で事務局をしていただけないか検討をお願いします。
	県営体育館での障がい者スポーツ大会について、仮設観覧席に手すりがなく、改善してほしい。
	市民参加のオープンなタウンミーティングを期待する。
	子育てファイルふくいっ子について、時々、大学にも保護者や学校からの資料として提出がある。保護者を通して大学まで伝達できるようになるとより学生の特性がつかみやすい。
	ペアレントメンター制度について、大学の学生の保護者におり、大学のイベント時に保護者間をつなげたことがある。大学や高校に働きかけてもらえば、メンター活用の促進になるかと考える。
	合理的配慮も大事だが、健常者も豊かに暮らせるよう、障がい福祉や介護福祉をGDPにつなげることも重要な課題ではないか。
	参加者のいろんな意見を聞けることだけでも自分としてプラスになると思い、これからの活動に活かしていきたいと思う。県や市の関係職員の方々に日頃大変お世話になりましてありがとうございます。
	災害時の要支援者に対する避難場所の設定や援助物資当の対応はどうなっているのか。 多目的トイレの設置を早く進めてほしい。
	自身の団体の講演会で要約筆記の派遣をしてもらいたい。高齢化し、講師や参加者の話を聞き取れない人が多くなってきた。
	初めて参加させていただき、ひとくちに障害と言ってもいろんな困りごと、いろんな意見があることを知りました。また県の方々の真摯な姿勢に胸を打たれました。私も息子を皆に支えてもらう中で日々仕事を続けられていることに感謝しながら、これからもコツコツできることをがんばっていきます。
	出前講座については会社関係が求めてくるのを待つのではなく、市町の方から公民館行事や学校の行事などへ出向いて行き講座というより合理的配慮について広報していかないとだめだと思います。 数年前に認知症サポーターをたくさん作った時のように、健常者と言われている人たちに知ってもらわないと、社会は変わらないと思います。
	アンケートの結果をホームページに開示することを、予め明示してほしい。

●当日アンケート

項目	ご意見
○自由意見	
	<p>障害者手帳を持っていない軽度から中等度の聴覚障がい、難聴の方(18歳以上)に対する補聴器の助成がない。毎日使用するもので、軽度から中等度の方が補聴効果が一番あるとのこと。汗をかいたりすると劣化することもあり、5年に1回購入する際の助成を市町に働きかけてほしい。</p>
	<p>当事者視点でお伝えしますが、支援団体からの意見の内容は当事者が求めていることとのミスマッチを感じました(予算や施策の質問や意見、不満ばかりで当事者不在と感じました)。制度や法律、予算を変えるには時間や労力がかかるから、今できることから未来社会を変えていくという姿勢を福井では感じる事が少ないのが残念です(できルールの基本)。</p>
	<p>行政主導の共生社会づくりは、多岐にわたる障がい者が存在する現在、すべての人が満足できることはないと思う。今回のようなイベントに参加できて、意見が言える人は、既に共生社会に順応し、制度を理解していると思う。声をあげられずひたすら我慢して隠れている人もまだまだ世の中にはいて、そこに手を差し伸べて適切な社会に誘導することは大変なことかと思うが、それを待っている人がいることは確か。こういった人が社会に出られてこそ本当の共生社会だと思うので、これからも隠れている障がい者を細かく深く探し出して対応してほしい。今の社会が言う共生社会を感じることはまだない。制度はないよりあった方が良いが、ずれている気がする。制度を作る側の人の中に障がい者やその親族などは含まれているのだろうか。</p>
	<p>障がい者の解雇が増加している。普通1,100人~2,400人と耳にするが、令和6年度は約3倍の9,000人以上となっている。県内でも該当する企業があるのでしょうか。物価高で景気が後退するのでしょうか。</p>